



平成26年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月11日

上場会社名 フリービット株式会社

上場取引所 東

コード番号 3843 URL <http://www.freebit.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 宏樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループ経営管理本部長 (氏名) 清水 高

TEL 03-5459-0522

四半期報告書提出予定日 平成25年12月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第2四半期の連結業績(平成25年5月1日～平成25年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第2四半期	10,395	△0.3	615	68.1	536	117.7	50	—
25年4月期第2四半期	10,427	3.2	366	47.0	246	△29.2	△158	—

(注) 包括利益 26年4月期第2四半期 81百万円 (—%) 25年4月期第2四半期 △237百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第2四半期	2.58	2.53
25年4月期第2四半期	△8.05	—

(注) 平成25年4月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		%
26年4月期第2四半期	16,956		6,176			34.5
25年4月期	17,869		6,242			33.2

(参考) 自己資本 26年4月期第2四半期 5,851百万円 25年4月期 5,940百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	0.00	—	7.00	7.00
26年4月期	—	0.00	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年4月期の配当予想については未定です。

3. 平成26年4月期の連結業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△3.2	1,200	28.2	1,000	108.1	100	—	5.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年4月期2Q	20,414,000 株	25年4月期	20,411,600 株
② 期末自己株式数	26年4月期2Q	868,800 株	25年4月期	868,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年4月期2Q	19,544,196 株	25年4月期2Q	19,744,955 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループが判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却に向けた政府の経済政策や金融政策への期待感から株価上昇や円高是正が進行したことにより、緩やかな景気回復の兆しが見られました。しかしながら、その効果は消費など実体経済の回復にまでには至っておらず、また、新興国などの経済減速懸念等により、グローバル経済は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、当連結会計年度である平成26年4月期を初年度とする中期経営計画「SiLK VISION 2016」において、前中期経営計画「SiLK VISION 2013」にて完備した4つのレイヤー（ブロードバンドインフラ、クラウドコンピューティングインフラ、アドテクノロジーインフラ、次世代インターネット・ユビキタスインフラ）を垂直統合し、一気通貫でサービスを提供するMCI (Multi Layer Component Integration) 戦略のもと、将来の成長が予想される3つの領域「モバイル革命」「生活革命」「生産革命」への徹底した顧客志向のサービス投入をテーマとし、以下の平成26年4月期の基本方針に則り取組みを開始いたしました。

<平成26年4月期基本方針>

- ・LTEサービス開始、「YourNet MVNO Pack」によるパートナー制度立上げ及び独自マーケティング手法によるBtoC向けモバイル事業の本格立上げ
- ・YouriDCのOEM提供及び回線／クラウド／アプリの統合による競争力のあるコスト構造とサービスによるクラウド事業の成長
- ・株式会社フルスピード（以下、「フルスピード」）と当社技術を融合したDSP／3PASの広告配信サービスの共同展開によるアドテクノロジー領域の成長
- ・M2M／ビッグデータ技術を利用した医療周辺サービスの展開及びServersMan各種ライセンスの積極展開等による新規事業の立上げ
- ・不正再発防止のための取組み等グループ管理機能の強化及び成長事業におけるコスト管理体制の徹底
- ・グループブランド構築、戦略的開発及び構造改革のための戦略的投資の実行

当第2四半期連結累計期間においては、重点事業であるモバイルの成長とグループシナジーを活かしたアドテクノロジーサービスの拡大が寄与し、営業利益・経常利益については前年同期比及び計画比ともに大幅な増益を達成いたしました。中でも、当第2四半期連結累計期間において株式会社NTTドコモとのL2接続によるLTEサービスの本格参入を果たし、回線（3G/LTE/固定網）+クラウド環境（MVNOバックオフィス環境）+ユーザーサポート+ミドルウェア（ServersMan SiLK OS）+端末までをパッケージした「YourNet MVNO Pack」の提供を開始したこと及び本パッケージの第1弾として、株式会社ドリーム・トレイン・インターネット（以下、「DTI」）より「ServersMan SIM LTE」の提供を開始したことにより、モバイルユーザー数が順調に増加し大幅に利益貢献いたしました。アドテクノロジーインフラにおいては、膨大なコンピューティングパワーとビッグデータ解析技術を活用した広告統合管理システムをはじめ、アドテクノロジー領域の新サービスが軌道に乗り始めたことなどから、売上高及び営業利益ともに増加いたしました。一方、ブロードバンドインフラにおいては、ISP事業者の買収戦略の再開により契約者数が増加したことに加え、契約ISP事業者へのMVNOサービスの拡販を積極的に進めたことにより売上高は増加いたしました。固定網の成長鈍化を想定した基幹網の大規模な再構築（今後3年間で約1,500百万円のコスト削減を見込む）にかかる先行投資費用等が期初計画どおりに発生いたしました。また、クラウドコンピューティングインフラにおいては、子会社の株式会社ベッコアメ・インターネット（以下、「ベッコアメ・インターネット」）の不正取引における過年度の会計処理の訂正及び再発防止のための体制変更等に時間を要し、さらに旧経営陣作成の予算を厳密に精査し直したこと等から、事業の進捗に遅れと計画差異が生じました。

以上の結果、売上高は10,395,086千円（前年同期比0.3%減）、営業利益は615,945千円（前年同期比68.1%増）、経常利益は536,439千円（前年同期比117.7%増）となりました。なお、平成25年5月に発覚いたしましたベッコアメ・インターネットの不明瞭な取引及び会計処理に関する特別調査委員会の調査結果を踏まえ、フルスピードを連結子会社化した平成23年4月期まで遡る過年度の決算の修正、再発防止策の作成等を行いましたことから、本件に関する一連の作業に掛かる費用が169,660千円発生いたしました。営業利益・経常利益の増加により、四半期純利益は50,483千円（前年同期は158,913千円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、「ブロードバンドインフラ」、「クラウドコンピューティングインフラ」、「アドテクノロジーインフラ」、「次世代インターネット・ユビキタスインフラ」、「B2C」の5報告セグメントとし、「SI」につきましては、アプリケーションソフト及びシステムの受託開発事業を縮小したことにより四半期連結財務諸表における重要性がないと判断し「その他」に統合して開示しております。

① ブロードバンドインフラ

戦略的なISP事業の買収及びMVNOサービス拡販による固定回線依存体質からの脱却を進めた結果、モバイル通信の契約数は順調に推移いたしました。その結果、売上高は3,824,223千円（前年同期比1.6%増）となりましたが、営業利益については、固定回線の契約数減少及び固定網減少を見越した基幹網の再構築にかかる先行投資費用が発生したこと等により、セグメント利益は353,610千円（前年同期比27.3%減）となりました。

② クラウドコンピューティングインフラ

売上変動の激しいゲーム業界以外の顧客開拓を図り、昨今のニーズの高まりにより市場拡大が予測されるディジタルカバリ市場への参入に向けたクラウドバックアップサービス等に注力し、サービス開発やVDCにおける大型案件の導入を積極的に進めてまいりました。一方、ベッコアメ・インターネットの不正取引にかかる対応に時間を要し事業進捗に遅れが生じたこと、また、同社が運営するデータセンタの再構築にかかるコスト等が発生した結果、売上高は1,141,378千円（前年同期比3.5%減）、セグメント損失は81,428千円（前年同期は43,214千円のセグメント利益）となりました。

③ アドテクノロジーインフラ

子会社のフルスピードの構造改革が終了し、利益基調へと進んだことから、アドテクノロジーへの転換を企図した新規サービスの本格的な拡販が始動いたしました。当第2四半期連結累計期間においては、潤沢なネットワーク、コンピューティングリソースにより継続的な差別化が可能と想定される広告主によるリアルタイムの広告入札と配信先選定をテクノロジーで自動化する広告配信システムを開発し、本年7月に第1弾をリリースしたことから、本サービスの取引社数が順調に増加いたしました。以上の結果、売上高は3,921,659千円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益は300,694千円（前年同期比116.0%増）となりました。

④ 次世代インターネット・ユビキタスインフラ

M2M領域においてのコアコンポーネントである「Cloud@SD」の開発を進め、シンプルなソリューションによる顧客提案の拡大を継続しております。当第2四半期連結累計期間においては、家電販売における赤字幅を大幅に縮小し、利益率の高い独自性のあるソリューションへのシフトを推進いたしました。以上の結果、売上高は18,290千円（前年同期比69.0%減）、セグメント損失は115,004千円（前年同期は183,606千円のセグメント損失）となりました。

⑤ B2C

子会社のDTIにおいて、成長著しいモバイル・クラウド領域における戦略的サービスを投入いたしました。中でも、月額490円で最大100Kbpsでの常時接続が可能なエンドユーザー向けの無線通信サービス「ServersMan SIM 3G 100」、当社の特許技術を採用したスマートフォン向けIP電話サービス「ServersMan 050」、当期より提供開始したLTE対応の「ServersMan SIM LTE」等、MVNOサービスの提供に注力し、モバイルユーザー数の拡大に寄与いたしました。その結果、売上高は2,413,634千円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益は480,930千円（前年同期比130.5%増）と大幅な増益となりました。

セグメント別売上高及びセグメント損益

(単位：千円)

区分	売上高	セグメント利益 又は損失 (△)
ブロードバンドインフラ	3,824,223	353,610
クラウドコンピューティングインフラ	1,141,378	△81,428
アドテクノロジーインフラ	3,921,659	300,694
次世代インターネット・ユビキタスインフラ	18,290	△115,004
B2C	2,413,634	480,930
その他	141,733	△13,316
調整額	△1,065,834	△309,540
合計	10,395,086	615,945

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は16,956,587千円となり、前連結会計年度末と比べて913,231千円減少しました。これは主として、現金及び預金が102,961千円、受取手形及び売掛金が153,556千円及びのれんが412,999千円減少したことによるものです。

負債合計は10,780,315千円となり、前連結会計年度末と比べて846,967千円減少しました。これは主として、短期借入金が600,000千円増加したものの、長期借入金が854,631千円及び引当金が730,187千円減少したことによるものです。

純資産合計は、主に配当金の支払いにより利益剰余金が減少したこと等により、前連結会計年度末と比べて66,264千円減少の6,176,271千円となり、この結果、自己資本比率は34.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は4,531,906千円となり、前連結会計年度末と比較して176,953千円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

営業活動による資金は350,018千円の増加（前年同四半期は671,712千円の増加）となりました。これは主に、保証債務の履行による支出が582,000千円あったものの、税金等調整前四半期純利益が307,210千円、減価償却費が277,577千円及びのれん償却額が415,611千円あったことによるものです。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動による資金は3,142千円の増加（前年同四半期は420,309千円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が157,456千円あったものの、貸付金の回収による収入が241,907千円あったことによるものです。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動による資金は560,713千円の減少（前年同四半期は606,122千円の減少）となりました。これは主に、短期借入金の純増額が603,000千円あったものの、長期借入金の返済による支出が926,895千円及び配当金の支払額が135,052千円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ベッコアメ・インターネットの不正取引に掛かる特別調査委員会の調査費用及び過年度訂正監査費用169,660千円を特別損失として計上したこと及び最近の業績の動向を踏まえ、平成25年9月12日に平成26年4月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績の予想数値を修正いたしました。現時点の事業進捗等を勘案し、9月12日公表の数値に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,685,302	4,582,341
受取手形及び売掛金	3,159,885	3,006,328
商品及び製品	119,081	40,914
仕掛品	11,063	4,337
原材料及び貯蔵品	6,089	6,157
その他	2,818,390	2,503,127
貸倒引当金	△263,558	△245,993
流動資産合計	10,536,253	9,897,212
固定資産		
有形固定資産	1,577,624	1,909,828
無形固定資産		
のれん	3,670,893	3,257,893
ソフトウェア	298,813	337,335
その他	106,932	95,153
無形固定資産合計	4,076,639	3,690,383
投資その他の資産		
投資有価証券	1,047,064	980,544
差入保証金	445,459	384,297
その他	684,815	629,010
貸倒引当金	△498,037	△534,690
投資その他の資産合計	1,679,301	1,459,163
固定資産合計	7,333,565	7,059,374
資産合計	17,869,818	16,956,587
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	80,170	45,120
短期借入金	1,670,000	2,270,000
1年内返済予定の長期借入金	1,819,867	1,847,603
未払金	2,999,618	3,058,130
未払法人税等	156,189	126,547
引当金	227,230	77,775
その他	791,041	877,274
流動負債合計	7,744,118	8,302,453
固定負債		
社債	200,000	50,000
長期借入金	2,530,900	1,676,268
引当金	595,501	14,768
その他	556,762	736,826
固定負債合計	3,883,164	2,477,862
負債合計	11,627,282	10,780,315

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,045,085	3,045,685
資本剰余金	1,673,302	1,673,902
利益剰余金	1,691,518	1,597,092
自己株式	△488,747	△488,747
株主資本合計	5,921,159	5,827,932
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,148	5,116
為替換算調整勘定	13,826	18,476
その他の包括利益累計額合計	18,974	23,592
新株予約権	3,348	3,348
少数株主持分	299,054	321,398
純資産合計	6,242,535	6,176,271
負債純資産合計	17,869,818	16,956,587

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
売上高	10,427,025	10,395,086
売上原価	6,761,940	6,462,748
売上総利益	3,665,085	3,932,337
販売費及び一般管理費	3,298,724	3,316,392
営業利益	366,360	615,945
営業外収益		
受取利息	6,023	1,458
受取配当金	401	204
負ののれん償却額	15,329	—
受取保険料	—	5,678
その他	7,752	2,333
営業外収益合計	29,506	9,674
営業外費用		
支払利息	64,713	50,141
持分法による投資損失	38,902	32,392
その他	45,873	6,646
営業外費用合計	149,490	89,180
経常利益	246,376	536,439
特別利益		
子会社株式売却益	—	13,461
特別利益合計	—	13,461
特別損失		
減損損失	7,234	41,458
貸倒引当金繰入額	154,827	—
債務保証損失引当金繰入額	580,000	—
過年度決算訂正関連費用	—	169,660
その他	20,312	31,570
特別損失合計	762,374	242,690
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△515,998	307,210
法人税、住民税及び事業税	132,915	118,598
法人税等調整額	△412,959	113,792
法人税等合計	△280,043	232,390
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△235,954	74,820
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△77,041	24,336
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△158,913	50,483

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△235,954	74,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,113	△59
為替換算調整勘定	—	5,156
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,580	1,656
その他の包括利益合計	△1,467	6,753
四半期包括利益	△237,421	81,574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△162,380	55,101
少数株主に係る四半期包括利益	△75,041	26,472

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△515,998	307,210
減価償却費	249,626	277,577
のれん償却額	438,582	415,611
負ののれん償却額	△15,329	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	180,661	14,852
受取利息及び受取配当金	△6,424	△1,663
支払利息	64,713	50,141
為替差損益(△は益)	△14	△8
持分法による投資損益(△は益)	38,902	32,392
減損損失	7,234	41,458
売上債権の増減額(△は増加)	242,179	153,490
仕入債務の増減額(△は減少)	23,947	△38,716
未払金の増減額(△は減少)	△454,939	55,019
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	580,000	—
その他	66,735	23,032
小計	899,879	1,330,398
利息及び配当金の受取額	7,885	1,113
利息の支払額	△74,062	△48,798
保証債務の履行による支出	—	△582,000
過年度決算訂正関連費用の支払額	—	△166,869
法人税等の還付額	42,792	107,967
法人税等の支払額	△204,782	△291,792
営業活動によるキャッシュ・フロー	671,712	350,018
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△158,181	△157,456
無形固定資産の取得による支出	△235,448	△126,175
貸付金の回収による収入	23,724	241,907
連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の払込による収入	—	24,140
差入保証金の回収による収入	74,097	46,129
その他	△124,500	△25,402
投資活動によるキャッシュ・フロー	△420,309	3,142
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	355,721	603,000
長期借入れによる収入	810,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△1,327,753	△926,895
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
配当金の支払額	△145,915	△135,052
リース債務の返済による支出	△99,049	△130,381
その他	△149,126	△21,383
財務活動によるキャッシュ・フロー	△606,122	△560,713
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	1,023
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△354,699	△206,528
現金及び現金同等物の期首残高	4,833,752	4,708,860
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,000	29,575
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,484,052	4,531,906

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成24年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	ブロードバンド インフラ	クラウドコンピ ューティング インフラ	アドテクノロジー インフラ	次世代インター ネット・ユビキ タスインフラ	B2C
売上高					
外部顧客への売上高	3,020,703	1,089,630	3,727,728	58,138	2,240,180
セグメント間の内部売上高 又は振替高	742,853	93,609	36,153	789	967
計	3,763,556	1,183,240	3,763,882	58,927	2,241,148
セグメント利益又は損失(△)	486,674	43,214	139,211	△183,606	208,669

(単位:千円)

	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高				
外部顧客への売上高	290,643	10,427,025	—	10,427,025
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32,482	906,856	△906,856	—
計	323,126	11,333,881	△906,856	10,427,025
セグメント利益又は損失(△)	△21,836	672,326	△305,966	366,360

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△305,966千円には、のれん償却額△303,587千円及びその他の連結調整額△2,379千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	ブロードバンド インフラ	クラウドコンピ ューティング インフラ	アドテクノロジ ーインフラ	次世代インター ネット・ユビキ タスインフラ	B2C
売上高					
外部顧客への売上高	2,906,907	1,029,101	3,901,096	18,244	2,412,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	917,315	112,276	20,563	46	1,165
計	3,824,223	1,141,378	3,921,659	18,290	2,413,634
セグメント利益又は損失（△）	353,610	△81,428	300,694	△115,004	480,930

（単位：千円）

	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高				
外部顧客への売上高	127,267	10,395,086	—	10,395,086
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,466	1,065,834	△1,065,834	—
計	141,733	11,460,921	△1,065,834	10,395,086
セグメント利益又は損失（△）	△13,316	925,485	△309,540	615,945

（注）1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△309,540千円には、のれん償却額△323,962千円、貸倒引当金の組替額9,281千円及びその他の連結調整額5,140千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から「SI」に関しましては、量的な重要性が減少したため「その他」に含めて記載する方法に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。